



御社が、効果的な人財育成と業績改善にご興味のない場合は、この記事を読む必要はございません。

【長文注意!!】

ご興味がおありの会社様には、この記事は重要です!

この記事では、いかにして日本的製造業に合う技術的人財の育成と活用を行うのか、どんな効果が生まれるのかについてお話しします。



日本製造業における人材育成・活用の戦略とは？

我が国においては、成熟企業を中心に解雇規制が厳しく、雇用の安定を求め、組織風土を重要視するメンバーシップ型の就業慣習が根深く存在します。これは一見、人的資本を含む経営変革のスピード感に乏しい、我が国の弱みのようにみえるかもしれません。

しかし組織の持続可能な競争力は、投機的で流動的な人財獲得競争によって達成されるのではなく、**変化に強く自律的に価値を生み出せるような人財を多数抱えること**によって達成できるのではないのでしょうか。自律的なリーダーを中心に継続的に自らの力をつけ、それを組織全体に伝染させて行く組織風土です。終身(長期)雇用を前提としているからこそ、このような継続的活動によって、しなやかで強い、持続可能な企業活動が可能となります。でもどうやって？



そのために、どんな支援が受けられるのか？

弊社株式会社ジェダイト (QR コードより HP にアクセス) では、大手製造業様において経営の実行部**自律的に価値を生み出せる、稼げる人財を増強し、一過性の活動にならないように育成活用方法を仕組み化、組織風土を醸成**してきました。弊社ではこのような、製造業における技術の面での経営実行、およびその牽引役となる人財を「**設計品質リーダー (DQL)**」と呼んでおり、前職(大手電機メーカー)から本職まで「DQL 育成コース」を通じて、通算約**20年間**、育成・事業成果実績を積み上げてまいりました。

本職(株式会社ジェダイト)だけでも、23年度現在で【**7年間で5社13期100名以上**】のリーダーを育成し、【**テーマ平均約1億円、中央値5,000万円**】の合計120億円以上の効果試算を計上しております。これらは、企業様自身によって【**単年度効果**】を試算し、経営幹部様確認済の数値のみを集計したものです。HPで詳細金額ご確認ください。

※参考：上記企業様の規模は年間売上100億円～1兆円程度。

このような成果を育成コース修了後も継続的に挙げていけるようなリーダーを育成し、しくみ化しています(1期の活動期間は1年間+フォロー1年間、詳細内容はお問合せ時に説明します)。

正直なところ、本コースは今までのセミナーやコンサルティングとは全く異なる方法ですので、変わる気のない組織や企業様にはお勧めできません。逆に**昨今の変化を先取りして、御社の人財育成・活用の成果を何倍にもしていきたい**企業様には、是非お勧めいたします。



DQL受講生が得られるもの

- ★効果が大きく実効性のある**テーマ設定方法**→これによって自分で仕事を作れる、価値を生み出せるリーダーになれます!
- ★経営者にも得心のいく**効果試算方法**、それに伴う成果定量化意識
- ★新テーマ提案の**プレゼンカ**
- ★周りを巻き込んで規模感のあるテーマを遂行していく**リーダーシップ**
- ★自信と、周りからの信頼、それによるさらなる**成長のループ**
- ★さまざまな品質・生産性改善手法、製品企画手法、アイデア発想法、データ解析などの**技術的スキル**およびそれらの有効な活用法
(※通常これだけをうたっているセミナーが多いことに注意)
- ★ともに改善、価値創造を実施してきた**仲間、社内外人脉**
- ★そのほか数え切れないほどの体験やスキルを、活動を通して獲得しています。ぜひ受講生の、生の声を弊社HPでご覧ください。



組織として得られるもの

- ★提言テーマを達成することによる事業成果(前述)、新しいシステム、しくみの蓄積(主に**開発システム、設計品質管理のしくみ**等)
- ★**リーダー人財育成運営のしくみ**
- ★自律的で創造的な**経営実行部隊、その牽引役、将来のプロダクトマネージャー候補、組織風土**
- ★社内改善事例、教育資料の蓄積 等々



どのようなテーマに取り組むのか(多い例)

- ★新製品開発による**売上利益の拡大**
- ★製品開発遅れによって発生する**市場機会損失の低減**
- ★開発期間短縮、出戻り防止等による、**価値創造リソースの創出**
- ★市場品質不具合の削減 等
- ※品質工学や統計・信頼性手法、シミュレーション、AI、などは手段として上記テーマとして含まれますし、セミナーでも扱います。しかし、**手法ありきではありません。**

設計品質リーダーとなった受講生の方々は、組織の中で中核的な存在となり、コース修了後も改善、価値創造の活動を推進し、後進育成に活躍されています。そのまますぐに開発、設計部門のマネージャーやプロダクトマネージャー等の責任ある立場に昇進される方も多いです。

これらのリーダーを中核として組織風土を着々と変えながら、自律的でイノベティブな組織を実現してゆきましょう。



講師、募集件数、お問合せ、費用について

講師は、弊社代表で**技術士(経営工学)**の資格をもつ、鶴田が責任を持って務めさせていただきます。あらゆる製品、課題のテーマを指導するには、広い管理技術(経営工学)、固有技術、そして人間力が必要です。本職7年間だけでも**3,000件以上の指導実績**のある下名におまかせください(HPに詳細プロフィールあり)。

しかし残念ながら、下名ひとりでは数多くの企業様に対応することができません(空き枠のみ不定期募集)。そこで、**人財、組織を本気で強くしようという決意と、ご予算のある会社様のみ**対応させていただきたいと考えております。

現時点で、最大【**2社様**】まで追加募集いたします。定数に達した場合は年単位でお待ちいただくこともございます。予めご了承ください。

ご連絡は、**意思決定権者様**または権限委任された方から弊社HPの**お問い合わせフォーム**または下記**Eメール**へお願いいたします。その後、リモートシステムでの打ち合わせを設定させていただきます。

※とにかく話だけ聞きたい、情報だけ取りたいという要望にはお応えすることは**できません**。ただし、簡単な質問にはメールでお答えできます。費用は人数や内容によって異なりますが、費用例については弊社HPの「提供サービス。料金」のページをご参考としてください。

ご連絡先: info@data-engineering.co.jp



株式会社ジェダイト
代表取締役、技術士(経営工学)
鶴田 明三

